

# 基礎看護学（健康科学領域）

## 1 構 成 員

	平成 25 年 3 月 31 日現在
教授	3 人
准教授	0 人
講師（うち病院籍）	0 人（0 人）
助教（うち病院籍）	1 人（0 人）
助手（うち病院籍）	0 人（0 人）
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人
医員	0 人
研修医	0 人
特任研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人（0 人）
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	1 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	5 人

## 2 教員の異動状況

- 渡邊 泰秀（教授）(H14.6.1～現職)  
 三浦 克敏（教授）(H18.4.1～現職)  
 永田 年（教授）(H18.4.1～現職)  
 山下 寛奈（助教）(H17.10.1～19.3.31 助手；19.4.1～現職)

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 24 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	10.80
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	1 編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	2 編（2 編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0 編（0 編）
そのインパクトファクターの合計	

### (1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Miura K, Yamamoto S: Pulmonary imaging with a scanning acoustic microscope discriminates speed-of-sound and shows structural characteristics of disease. *Laboratory Investigation* 92:1760-1765, 2012.[3.64]
2. Miura K, Nasu H, Yamamoto S: Scanning acoustic microscopy for characterization of neoplastic and inflammatory lesions of lymph nodes. *Scientific Reports* 3:1255; 2013; DOI 10.1038/srep01255. [2.93]

インパクトファクターの小計 [6.57]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
1. Yamakawa T, Watanabe Y, Watanabe H, Kimura J: Inhibitory Effect of Cibenzoline on Na<sup>+</sup>/Ca<sup>2+</sup> Exchange Current in Guinea-Pig Cardiac Ventricular Myocytes. *Journal of Pharmacological Sciences* 120, 59-62, 2012. [2.08]
  2. Ishih A, Nagata T, Kobayashi F: The course of a primary infection of *Plasmodium yoelii* 17XL in both 129S1 and IFN- $\gamma$  receptor-deficient mice. *Parasitology Research* DOI: 10.1007/s00436-012-2873-2., 2012, [2.15].

インパクトファクターの小計 [4.23]

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

## (2) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 渡邊泰秀, 韋嘉章, 竹内和彦, 山下寛奈, 喜多紗斗美, 岩本隆宏, 渡邊裕司, 木村純子: 心臓の Na<sup>+</sup>/Ca<sup>2+</sup> 交換電流に対するニコランジルの cGMP を介する増強作用. *THERAPEUTIC RESEARCH*, 34, 291-292, 2013.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

### (2-2) レター

### (3) 総 説

### (4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 渡邊泰秀, 樋口マキエ（編集）*コメディカルのための薬理学 第2版*（第5章血液疾患に対する薬物, 第6章炎症と免疫疾患に対する薬物）, p107～p132, 2012.
  2. Nagata T, Koide Y: Identification of T cell epitopes of *Mycobacterium tuberculosis* with biolistic DNA

vaccination. Methods in Molecular Biology, 2013; 940: 285-303.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

#### 4 特許等の出願状況

	平成 24 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

#### 5 医学研究費取得状況

	平成 24 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(170 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	( 0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0 件	( 0 万円)
(4) 財団助成金	0 件	( 0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	2 件	(81 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0 件	( 0 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

三浦克敏（代表者）基盤研究（C）、超音波顕微鏡画像の感度と特異性を向上させる方法の開発、平成 24 年度～平成 26 年度、平成 24 年度：170 万円（新規）

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

三浦克敏（代表者）独立行政法人 科学技術振興機構 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム、特異的超音波顕微鏡画像の描出方法の開発、平成 24 年度、31 万円

三浦克敏（代表者）独立行政法人 科学技術振興機構 理数学習支援 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト 精密で不思議な人体 平成 24 年度 50 万円

#### 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

#### 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件

(5) 学会役員等回数	0 件	3 件
(6) 一般演題発表数	3 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Watanabe Y, Kita S, Iwamoto T: Electrophysiological properties of YM-244769, a new and selective NCX blocker, in heart. Experimental Biology 2012, San Diego, California, 21-25 Apr., 2012.
2. Kita S, Watanabe Y, Yamashita K, Yamada T, Yamamoto S, Kimura J, Iwamoto T: Pharmacological properties of YM-244769, a specific Na<sup>+</sup>/Ca<sup>2+</sup> exchange inhibitor, in cardiac myocytes. 56<sup>th</sup> Annual Meeting of Biophysical Society, San Diego, California, 25-29 Feb., 2012.
3. 三浦克敏 : Application of Scanning Acoustic Microscope to evaluate lymph node lesions、European society of Pathology 24th, 2012 年 9 月、プラハ (チェコ)

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演  
三浦克敏、超音波顕微鏡の病理検体への応用、第 1 回医用超音波顕微鏡研究会、2012 年 12 月、豊橋
- 3) シンポジウム発表
- 4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

渡邊泰秀：日本薬理学会評議員

三浦克敏：日本病理学会評議員

日本臨床細胞学会静岡県支部理事

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	1 件

(1) 国内の英文雑誌等の編集

(2) 外国の学術雑誌の編集

1. 永田、Journal of Vaccine and Vaccination (米国)、Editorial Board

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

渡邊泰秀：1回 Journal of Physiology and Biochemistry（オランダ）

1回 Journal of Physiological Science（日本）

永田 年：1回 Microbiology and Immunology（日本）

1回 Vaccine（米国）

## 9 共同研究の実施状況

	平成 24 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	1 件
(3) 学内共同研究	2 件

(1) 国際共同研究

(2) 国内共同研究

1. 福島県立医科大学薬理学講座および福岡大学医学部薬理学講座と「Na/Ca 交換輸送体と心筋保護作用を有する薬物との関係」をテーマに共同研究を行なっている。(渡邊泰秀)

(3) 学内共同研究

1. 臨床薬理学講座と「Na<sup>+</sup>/Ca<sup>2+</sup>交換体と心筋保護薬との関係」をテーマに共同研究を行なっている。(渡邊泰秀)
2. メディカルフォトリクス研究センター（イノベーション光医学研究室）と超音波顕微鏡の臨床応用とテラヘルツ波の顕微鏡観察応用について共同研究を行なっている。(三浦克敏)

## 10 産学共同研究

	平成 23 年度
産学共同研究	1 件

1. 本多電子（豊橋）と超音波顕微鏡の臨床応用について共同研究を行っている。(三浦克敏)

## 11 受賞

(1) 国際的な受賞

(2) 外国からの授与

(3) 国内での授賞

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 超音波顕微鏡による肺とリンパ節病変についての研究結果を国際学会で発表し、国際雑誌 Laboratory Investigation 2012 年 12 月号のカバー写真に取り上げられた。

## 13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

## 14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

## 15 新聞, 雑誌等による報道

1. 2012年7月31日、中日新聞、静岡新聞、平成24年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（講座型学習活動支援）で高校生を対象とした研究紹介・体験学習記事が掲載された。